Tone Hammer® 500 V2
ユーザー・マニュアル

はじめに

この度は、Tone Hammer® 500 V2をお買い上げいただき、誠にありがとうございます！

独特のウォームでチューブライクなトーンとキャラクターの超軽量アンプTone Hammer® 500 V2は、フレキシブルな3バンドEQ、パンチや歪み感が得られるAguilar独自の「Drive」コントロールを装備し、500Wのパワーをわずか1.9kgのパッケージに収めました。このソリッドステート・アンプは、4 Ωまたは2.67 Ω駆動時の連続出力が500Wで、驚くほど自由度の高いEQセクション、シリーズ接続のエフェクト・ループ、2系統のXLRバランス出力、AUX入力、ヘッドフォン端子を装備し、さらにリアパネルにはSpeakon（スピコン）出力端子、そしてAguilar Cabinet Suite IRモジュールも搭載しています。

目次

安全上のご注意 3

使い始める 4

本マニュアルでの用語表記について 4

基本セットアップ 4

保護機能 4

各部の機能 5

フロントパネルの各種機能 5

リアパネルの各種機能 6

環境保護について 7

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。
注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分け ています。
これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△ 記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⃠ 記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	● 記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

⚠警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、
死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- ACアダプター のプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- ACアダプターの プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。
  感電やショートの恐れがあります。
- 本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプタ ーのプラグへ容易に手が届くようにする。

- 次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
  - ○ AC アダプターが破損したとき
  - ○ 異物が内部に入ったとき
  - ○ 製品に異常や故障が生じたとき

  修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。

- 本製品を分解したり改造したりしない。

- 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれてること以外は絶対にしない。
- ACアダプターのコード を無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプタ ーのコードの上に重いものをのせない。
  コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。
  大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。
- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。
- 振動の多い場所で使用や保管はしない。
- ホコリの多い場所で使用や保管はしない。

- 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。

- 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。
- 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。
- 本製品に液体をこぼさない。

- 濡れた手で本製品を使用しない。

⚠注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性
または物理的損害が発生する可能性があります

- 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
  ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ACアダプターをコンセ ントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。
- 長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。
- 電池は幼児の手の届かないところへ保管する。

- 長時間使用しないときは、ACアダプター をコンセントから抜く。

- 指定のACアダプター以 外は使用しない。
- 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。
  本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- 電池を過度の熱源（日光、火など）にさらさない。
- スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
  故障の原因になります。
- 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。
- 不安定な場所に置かない。
  本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
  本製品が転倒または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- 本製品の隙間に指などを入れない。
  お客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

修理についてのご質問、ご相談は、サービス・センターへお問い合わせください。商品のお取り扱いについてのご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

コルグお客様相談窓口

https://www.korg.com/jp/support/contact/korg/

サービス・センター：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸 1-15-10 柏木ビル

輸入販売元： KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
URL: http://www.korg.com/jp/kid

使い始める

本マニュアルでの用語表記について

本マニュアルでは、Tone Hammer® 500 V2のパネルに表示されているノブ等の名称を、イタリック（斜体）で表記します。

基本セットアップ

- 電源電圧：100-240 ~VAC 50/60Hz
- 電源ヒューズ：Internal T 6.3 A H/250V
- 最大消費電力：650W

Tone Hammer 500® V2はユニバーサル電源を搭載しており、100Vから240Vまでの電圧、50または60Hzの周波数のAC電源でご使用になれます。

お使いのスピーカー・キャビネットと本機との接続には、スピコン・ケーブル（ケーブルの両端がSpeakonコネクターのもの）、またはスピコン-To-1/4"（6.35mm）フォーンプラグのケーブルをご使用ください。

本機リアパネルのスピーカー出力端子は、4芯スピコン・コネクターのピン+1とピン-1が接続されています。このコネクターは、一般的な2芯または4芯のスピコン・プラグに対応し、2芯もしくは4芯のスピコン・ケーブルがご使用になれます。ケーブル内の過熱防止のため、AWG 12以上のケーブルをご使用ください。ケーブルの加熱は、電気的な絶縁や火災、感電を引き起こすおそれがあります。

本機の出力は、お使いのキャビネットのインピーダンス値によって次のように変わります：

- 8Ω（8Ωキャビネット1台）：250W
- 4Ω（4Ωキャビネット1台、または8Ωキャビネット2台）：500W
- 2.67Ω（8Ωキャビネット1台と4Ωキャビネット1台、または8Ωキャビネット3台）：500W

本機と電源コンセントとの接続には、付属の電源コードをお使いください。

楽器と本機を接続し、本機の電源を入れます。*OPERATE*と*STATUS*のランプが点灯するとアンプが使用できる状態になります。

保護機能

Tone Hammer® 500 V2は、通常の動作範囲の限界を超えた場合にアンプへのダメージを防ぐために設計された複数の保護回路を搭載しています。保護回路には、過電流、過熱、DC、高周波検出器があります。これらの回路のいずれかが作動すると、本機は出力を制限するか、シャットダウンします。この間、 *OPERATE*と*STATUS*ランプの両方が消灯します。
加えて本製品は、国際的な安全規格への準拠を目的として、自動電源オフ機能が搭載されています。アンプが3時間以上にわたって信号を受信しなかった場合、自動的に電源がオフになります。アンプの電源が切れていることにお気づきの際は、一度電源スイッチをオフにし、3〜5分ほど待ってから再度電源をオンにしてください。

各部の機能

フロントパネルの各種機能

-10dB：-10dBのパッドをシグナルパスに挟み込み、出力が非常に高いベースのゲイン調整時でも柔軟性を確保できます。

Gain：アンプの入力レベルを調整します。

Drive：*Drive*ノブを操作すると、*Gain*ノブの設定に応じてゲイン・ストラクチャーとEQを変化させます。これにより、*Gain*ノブの設定に適応した「ビンテージ・スタイル」のEQにすることができます。Gainノブを低めに設定すると、EQはよりフラットな特性になります。*Gain*ノブを高めに設定すると、ゲイン・ストラクチャーで飽和（サチュレーション）が生じ、ローエンドが引き締まり、スムーズなトレブルになります。Drive回路がミッドレンジを取り囲んでいるため、*Gain*、*Mid Level*、*Mid Freq*の各ノブを調整するだけで、非常に幅広いトーンが得られます。

Volume：アンプ全体の音量を調整します。

EQセクション：

Treble：±14dB @ 4kHz
Mid Level：±16dB
Mid Frequency：180Hz – 1kHz
Bass：±17dB @ 40Hz

D.I. 1：

D.I. 定格出力レベル：-20dBu

D.I. Pre/Postボタン：

Pre：入力信号は、GainとEQの前段、-10dB PADの後段からD.I. XLR出力に送られます。
Post：Gain、Drive、EQ、エフェクト・ループを経た信号がD.I. XLR出力に送られます。このセッティングの場合、*Master*ノブで調整できるのはスピーカー・キャビネットからの音量のみで、D.I. XLR出力の信号レベルは調整できません。

Lift/Ground：D.I.使用時にハムノイズが生じている場合は、グランドループが発生している可能性があります。多くの場合、*Lift/Ground*ボタンで問題は解消できます。

Tone Hamme® 500 V2は、スピーカー・キャビネットを接続せず、レコーディングなどの用途でXLR出力のみを使用しても安全にご使用いただけます。リアパネルのスピコン・コネクターからスピーカー・ケーブルを取り外し、XLR出力からお使いのレコーディング機器やオーディオ・インターフェイスに接続してご使用になれます。

*注意：Tone Hammer® 500 V2は、D.I.出力にファンタム電源を供給しても破損することはありません。D.I.ファンタム電源は、PAやレコーディングなどのミキシング・コンソールのチャンネルに装備されたスイッチで供給される電源のことで、一部のタイプのマイクで必要となるものです。なお、ファンタム電源（通常は「48V」などと表記されています）を使用しても、本機のD.I. XLR出力の音質などには影響しません。また、本機はファンタム電源を必要する機器ではありませんので、ミキシング・コンソールに接続する際は、ファンタム電源をご使用にならないことをお勧めします。

リアパネルの各種機能

Effect Loop Section（センド/リターン）：エフェクト・ループ・セクションは、定格入力レベルが +4dBu の業務用音響機器（ラックマウント・タイプの機器等）の使用を前提としたものです。また、エフェクト・ループはシリーズ接続です。コンパクト・タイプなどのエフェクターは、アンプの前段でご使用ください。

Speaker Output：Speakon（スピコン）端子を1つ装備しています。トータルのインピーダンスが 2.67 Ω以下にならなければ、キャビネットの組み合わせは自由です。また、スピコン端子のピンは +1 と -1 が接続されています。

Tuner：1/4"（6.35mm）フォーンジャックのチューナー端子です。アンプ自体がミュート状態でもこの端子からはチューナーに信号を送ることができます。

Headphone out：Tone Hammer® 500 V2 は 1/8"（3.5mm）のヘッドフォン端子を装備し、キャビネットから音を出さずに練習などを行えます。1/8"（3.5mm）の *Aux In* にはラップトップやスマートフォン、音楽プレイヤーなどを接続でき、音楽を聴きながら演奏することができます。*Aux In* とヘッドフォンとの音量バランスは、*Headphone Mix* ノブで調整できます。

長時間にわたる大音量でのリスニングは、しないでください。

長時間かつ頻繁な大音量（高音圧）でのリスニングは、難聴などの聴覚異常を引き起こすおそれがあります。

Aux In：1/8"（3.5mm）の入力端子です。音楽プレイヤーなどを接続できます。

D.I. 2 / Aguilar Cabinet Suite：もう1つのD.I. 出力はリアパネルにあり、Tone Hammer® 500 V2 の機能や柔軟性の高さをさらに引き上げます。このD.I. 出力は、「Post」信号をフロントパネルのD.I. 出力とは別のチャンネルにレコーディングしたり、インイヤー・モニター・ミックスに使用したり、プリロードされている3つのインパルス・レスポンス（Tone Hammer® 500 V2 には Aguilar SL 112、SL 410x、DB 410 の各キャビネットのインパルス・レスポンスがプリロードされています）から1つを選択して、この信号に加えることができます。

D.I. 2 Lift/Ground：D.I. 出力使用時にハムノイズが生じている場合は、グランドループが発生している可能性があります。多くの場合、*Lift/Ground* ボタンで問題は解消できます。

USB-C：このコネクターは、本機と Windows® PC や Apple® 製コンピュータを接続し、Aguilar Cabinet Suite を使用して IR（インパルス・レスポンス）ファイルの編集に使用します。注意：このコネクターは、レコーディングなどのオーディオ・インターフェイスや充電ポートとしては使用できません。Aguilar Cabinet Suiteを使用することで、本機にプリロードされているIR以外に、オリジナルのIRを3つのスロットのうちの1つに入れることができます。そのためには、Aguilar Cabinet Suite ソフトウェアを Aguilar ウェブサイト（www.aguilaramp.com）からダウンロードして開き、本機とコンピュータを USB-C ケーブルで接続し、ドラッグ＆ドロップで簡単に IR ファイルを本機の好きなスロット入れることができます。

CAB IR Select：このボタンを押すとキャビネット IR が順番に切り替わります。ボタンを押すたびに IR なし、IR スロット 1、スロット 2、スロット 3 の順に切り替わり、もう一度押すと IR なしに戻ります。

環境保護について

このマークは、使用済みの電気・電子機器（WEEE：電気・電子廃棄物）を家庭ごみと一緒に廃棄してはならないという意味です。
最寄りのWEEE回収センターやリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体やお買い上げの販売店にお問い合わせください。

アフターサービス

■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。
記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。ただし、補修用性能部品（電子回路などのように機能維持のために必要な部品）の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品（パネルなど）の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理を依頼される前に

故障かな？とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときはお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です

This product is only suitable for sale in Japan. Properly qualified service is not available for this product elsewhere. Any unauthorised modification or removal or originnal serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

コルグお客様相談窓口
https://www.korg.com/jp/support/contact/korg/
サービス・センター：〒168-0073　東京都杉並区下高井戸 1-15-10 柏木ビル

輸入販売元: KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
WEB SITE: http://www.korg.com/jp/kid/

KORG
本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2　URL: http://www.korg.com/jp/

© 2024 KORG INC.